



衆議院議員

2025年4月10日号

池田 まき



<https://ikemaki.jp/>

立憲民主党北海道第5区総支部

〒069-0833
江別市文京台41-9-101
TEL 011-807-5300
FAX 011-807-5522

北海道5区版 号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU
■立憲民主総支部 〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル7F
Tel.03-3595-9988 Fax.03-3595-9088

【国会報告】ラピダス支援法改正案が可決 池田真紀議員、政権の責任と地域対応を問い質す



衆議院本会議で代表質問

次世代半導体の量産を目指す「ラピダス」への支援を盛り込んだ「情報処理の促進及び特別会計法の一部改正案（ラピダス支援法改正案）」が、今国会で可決されました。これにより、今後も年間1兆円規模の国費が継続的に投入される見通しです。

法案審議では、池田議員が半導体人材の育成・確保、下水道や道路などのインフラ整備、地域の生活・居住環境の向上といった課題を指摘。これを受け、経営状況の国会報告義務などとともに、15項目にわたる付帯決議が盛り込まれ、採択されました。

ラピダスは2022年に政府主導で設立された半導体メーカーで、トヨタ自動車、ソニーグループ、NTTなどが出資しています。千歳市に建設された工場では、2025年4月にパイロットラインが始動し、2027年には世界最先端となる2ナノ半導体の量産を目指しています。

政府はこれまでに総額1兆7千億円を超える支援を行っており、半導体産業の復活をかけた国家プロジェクトとして注目されています。

人材育成、関連産業、環境整備、住民の不安に向き合う排水対策を

北海道5区選出の池田真紀衆議院議員（立憲民主党）は、3月25日の衆議院本会議および4月4日の経済産業委員会で質問に立ちました。池田議員は、過去の半導体政策が日米貿易摩擦や企業の投資縮小などにより失敗した経緯に触れた上で、ラピダスに対する巨額の税投入について、政権の「覚悟と責任」を問い質しました。

また、池田議員はラピダスの小池社長が「量産技術の開発は非常に難しい」と発言したことにも触れ、情報公開の徹底や事業の透明性確保を求めました。さらに、人材育成や産業集積、上下水道などのインフラ整備、教育・医療体制の充実、排水処理やPFAS不使用技術の活用など、地域住民に寄り添う支援の必要性を強調しました。

これに対し、政府側は「関係省庁が連携し、地域と丁寧に向き合っていく」と答弁しました。池田議員は最後に「国家プロジェクトであっても、ただ旗を振るだけで成功するものではありません。最大のリスクは、石破政権のリーダーシップと信頼が失われていることです」と述べ、質問を締めくくりました。



経済産業委員会で質疑

池田 まき

- 1972年5月24日東京都板橋区生まれ。
- 板橋区役所福祉事務所に14年間勤務。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、ヘルパー1級、防災士などの資格を取得。
- 「福祉は政治」と政治を志し、2011年北海道へ移住。北海道NPO被災者支援ネット（生活相談センター長）、北海道社会福祉士会などの仕事をしながら、フリーソーシャルワーカーとして、災害福祉、権利

- 擁護、人材育成など幅広く活動。
- 元内閣官房地域活性化伝道師（～2014）。
- 2015年3月北海道大学公共政策大学院修了。
- 2015年4月北海道大学公共政策大学院HOPS研究センター研究員。
- 2017年10月、衆議院に出馬し比例区で当選。
- 2024年10月衆院選で125,444票を得て選挙区で当選（2期目）



北海道第5区 札幌市白石区（北東白石連合町内会管内）・札幌市厚別区・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・当別町・新篠津村

3月29日、馬淵澄夫衆議院議員・元国交大臣を招いて 「池田真紀・国政報告会」が開催



池田真紀国政報告会の様子

馬淵議員は、政治とカネの問題や消費税減税、安全保障など幅広いテーマで講演。参加者との質疑応答も行われ、活発な意見交換が行われました。

池田議員は、「政策は地域、自治体、住民が一緒になって作っていくもの。私はその声を国政にしっかり届けたい」と報告会を締めくくりました。

3月29日、札幌市厚別区のホテルで「池田真紀・国政報告会」が開催され、立憲民主党の馬淵澄夫衆議院議員・元国交大臣を講師に迎えました。

池田真紀衆議院議員は、高額療養費の負担引き上げ問題を国会で追及し、凍結に至った経緯を報告。また、次世代半導体企業ラピダスへの支援をめぐる改正法案で代表質問に立ったことも紹介しました。



馬淵澄夫衆議院議員による講演

千歳市議選 「佐々木あきら」氏を公認



佐々木あきら氏

立憲民主党は、千歳市議候補に「佐々木あきら」氏を公認しました。佐々木氏は千歳市出身の63歳。千歳市立末広小学校、同青葉中学校、道立苫小牧工業高校を卒業した後、札幌市役所職員に採用されました。今年1月に退職し、地元の千歳市議を目指すことを決意しました。

佐々木氏のキャッチフレーズは「地域の声を市政に」。

45年間に及ぶ市職員としての経験、また20年以上に及ぶ地元町内会の活動経験を活かし、今度は議会を通して地域の声を市政に反映させる役割を担います。

掲げる政策は①誰もが安心して歩ける道路環境整備②ラピダス稼働と市民生活③地域産業や農業への施策強化④保育・教育の環境整備⑤誰もが安心して暮らせる社会をめざす⑥立憲主義、平和主義に基づいた平和と繁栄への貢献—です。



左から、池田真紀衆議院議員、佐々木あきら氏
小林千代美道議会議員



立憲民主党 党員・サポーター募集

5区でのサポーターになってください！一緒に変えよう！

募集要項：党綱領及びそれに基づく政策に賛同し、草の根からの声に基づくボトムアップの政治を実践しようとする18歳以上の日本国民であること

・5区以外にお住まいの方でもOK・他総支部で登録済の方も5区での登録はOK

党費：年間 6,000円（広報誌含む）

サポーター登録料：年間 2,000円

基準日：4月1日 お申込みは5月中旬まで！

FAX 011-807-5522 ☞info@ikemaki.jp

